

JENESYS2025 日本・フィリピン日本語・文化・製造業・科学技術交流 (招へいプログラム)
JENESYS2025 日本・シンガポール日本語・文化・製造業・科学技術交流 (招へいプログラム)、
JENESYS2025 日本・タイ日本語・文化・製造業・科学技術交流 (招へいプログラム) の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

フィリピン・シンガポール・タイの高校生、大学生、専門学校生等 30 名が、11 月 11 日～11 月 18 日まで、日本語や日本文化、日本の製造業・科学技術分野に関する講義・視察、関係者との交流を通じて、日本について理解を深め、将来的に日本への留学・就職などの可能性を広げるとともに、日本と各国との間に友好ネットワークの構築を図ることを主目的として訪日しました。一行は東京都でのプログラムの後、宮城県に移動し学校交流やホームステイを行いました。参加者はプログラム中の体験や学び、日本の魅力を SNS 等を通じて発信しました。

【参加者】合計 30 名

フィリピンの高校生 7 名、引率者 1 名 計 8 名、

シンガポールの高校生 10 名、専門学生 1 名、引率者 1 名 計 12 名、

タイの高校生 8 名、大学生 1 名、引率者 1 名 計 10 名

【訪問地】東京都 30 名、宮城県 30 名

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）:

11 月 4 日（火曜日） 【日本理解講義】「日本の魅力」

講師：岡山大学 学術研究院共通教育・グローバル領域、グローバル人材育成院
 織田 雄一 教授

【来日前オリエンテーション】

来日までの指定期間 【課題学習（動画配信）】「事前オリエンテーション」「日本理解講義」「ホームビジット体験」「愛知の魅力～産業、最先端技術～」「日本文化理解（京都）」「日本語」

■ 招へいプログラム:

11 月 11 日（火曜日） 成田国際空港及び羽田空港より入国

【来日時オリエンテーション】

【テーマ関連視察】TEPIA 先端技術館

11 月 12 日（水曜日） 【テーマ関連講義】「日本のアニメの歴史」

講師：amps 国際アニメ学院（パイオニアプロダクション）
 amps アニメ学部 小幡 公春 統括主任

- 【テーマ関連視察】独立行政法人 国立印刷局 東京工場
 【視察】旧古河庭園
- 11 月 13 日（木曜日） 東京都から宮城県へ移動
 【学校交流】聖ウルスラ学院英智高等学校
- 11 月 14 日（金曜日） 【文化体験】みやぎの明治村（登米市）
 【表敬訪問】登米市 熊谷 康信 市長
 【ホストファミリー対面式】
 【ホームステイ】登米市
- 11 月 15 日（土曜日） 【ホームステイ】文化体験含む
- 11 月 16 日（日曜日） 【ホームステイ】
 【ホストファミリー歓送会】
 【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、SNS 発信状況等確認、
 帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
- 11 月 17 日（月曜日） 宮城県から東京都へ移動
 【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表
- 11 月 18 日（火曜日） 成田国際空港より出国

2. 記録写真

プレプログラム（オンライン事前学習）

	
11 月 4 日【日本理解講義】	11 月 4 日【来日前オリエンテーション】

招へいプログラム

	
11 月 11 日【来日時オリエンテーション】	11 月 11 日【テーマ関連視察】TEPIA 先端技術館



11月12日【テーマ関連講義】
「日本のアニメの歴史」



11月12日【テーマ関連視察】独立行政法人 国立
印刷局 東京工場



11月12日【視察】旧古河庭園



11月13日【学校交流】
聖ウルスラ学院英智高等学校



11月14日【文化体験】みやぎの明治村（登米市）



11月14日【表敬訪問】登米市 熊谷 康信 市長



11月14日【ホストファミリー対面式】



11月15日【ホームステイ】登米市

	
11 月 16 日【ホストファミリー歓送会】	11 月 16 日【ワークショップ】
	
11 月 17 日【報告会】(シンガポール・フィリピン)	11 月 17 日【報告会】(タイ)

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ フィリピン 高校生

聖ウルスラ学院英智高等学校の学生たちの優しさと学校の清潔さに感銘を受けました。彼らのゲームの創造性にも驚きました。学校や人々に規律があることが印象的でした。彼らは忍耐強く、私たちに多くのことを教えてくれました。また、登米市の美しく豊かな建築様式は、まさに唯一無二でした。その精巧さと品質の高さに深く感銘を受けました。東京オリンピックスタジアムの建築家である隈研吾氏が設計した登米懐古館も、革新的な作品で感動しました。

ホームステイは訪問の中で最も印象的でした。日本の家庭で生活したことで、教科書やツアーからは学べないことをたくさん学び、このような意味のある関係を築けたことに感謝しています。

◆ シンガポール 高校生

TEPIA 先端技術館が現代の実社会の問題を多く考え、それに対する解決策を訪問者と共有するための空間を作っていることに感銘を受けました。非接触型タッチスクリーンなど、デザインには多くの思考が込められていて、課題解決に役立つと思います。

amps 国際アニメ学院を訪問し、アニメが時代とともにどのように進化してきたのかを知り驚きました。1950 年代から 2010 年代までの映像はとても印象的でした。1900 年代のアニメは全体的に同じスタイルでしたが、2000 年代以降は多様化しているようです。これは技術の進化によるものだと思います。

みやぎの明治村では、学校の構造に感銘を受けました。木造建築が 1 世紀もの間耐え続けていること、そして侍の歴史や衣装、刀、歴史上の人物について学べたことが印象的でした。

どこへ行っても皆さんの礼儀正しさに感動しました。常に笑顔で温かく迎えてくれました。

◆ タイ 高校生

国立印刷局では、日本の紙幣製造技術にとっても感銘を受けました。他国と比べて細部まで高度で、一枚の紙幣に多くの配慮が込められているのが驚きでした。ギャラリーで紙幣の細部を見られたことや、横から見ると曇っているガラスが、正面から見ると工場の様子をすべて映し出す仕組みもすごかったです。

旧古河庭園では、西洋風の家がとても美しくクラシックで、バラと一緒に見える景色が素敵でした。滝のあるエリアも好きで、そこにはアヒルがいて、紅葉もとてもきれいでした。

聖ウルスラ学院英智高等学校との学校交流では、日本の学生の学校生活を見られたこと、そして日本の学生と話して交流できたことがよかったです。一緒に日本のゲーム（カルタなど）をしたことも楽しかったです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 講師

ワークショップに真摯に取り組んでもらえて、とてもやりやすかったです。目を輝かせてもらえた部分をさらにブラッシュアップさせていこうと思いました。

◆ 交流校生徒

私は元々、大学在学中の留学を目指していました。今回の交流を通して、より一層英語学習への意欲が高まりました。具体的には英語検定や TOEFL の取得、継続的に外国の方との交流を行うなど、今からできることをしていきたいと思います。また、今回の交流で日本語を伝える楽しさを得たので、条件を満たしたら、在日外国人に日本語を教える活動のボランティアにも参加したいと考えています。

◆ ホストファミリー

皆さん礼儀正しく、積極的に日本の文化に興味を示し、どの活動にも意欲的に取り組んでいて好感がもてました。

◆ ホストファミリー

言葉の壁はジェスチャーで解決できました。これから、英語力に力を入れたいと思いました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

Update for yesterday activities!!! I have visited the AMPS Anime School and got the present from K.Obata sensei since I won the Conan drawing competition!!! Another place is Furugawa Garden, where has the Western house which is so cool, and I also visited the Japan National Printing Bureau, it unfortunately that the place is unavailable to take a picture, but there has the money gallery that show the details of Yen¥, and it's so elaborated. The last place I have visited was Shibuya!! I bought the souvenirs there, and first time rode train in Japan is a bit amazing!!! (P.s. I bought a 4x100 Yen stamp) #JENESYS2025 #JENESYS_ASEAN 	
--	--

昨日の活動の最新情報です。amps 国際アニメ学院を訪れ、似顔絵描きで優勝し、小幡先生からはプレゼントをいただきました。それから、旧古河庭園にも行きました。素敵な洋館があり、本当に素晴らしかったです。国立印刷局にも行きました。日本のお金の細部まで展示しているギャラリーがあり、とても精巧な作りであることが分かりました。

[illegible]

また、創立から 138 年を迎えた旧校舎も見学しました。今では博物館として公開されています。その後は、地元の食材を使った心温まる郷土料理を

この度は温かく迎えてくださり、本当にありがとうございました。一緒に柿や菊を摘んで天ぷらをつくった時間は、忘れられない思い出です。若い頃のお写真や人生のお話を聞いたことも、とても嬉しかったです。お家の周りの美しい自然にも心が癒やされました。この素敵な経験に心から感謝しています。

[illegible]

一緒に交流をしたいと集まった本校生徒 20 名が、何回もミーティングの時間を持ち、プログラム内容を考えました。生徒達は日本の縁日をイメージして文化体験をしてもらおうと、知育菓子・書道体験・ペイブレード・かるた・けん玉のブースを作りました。(後略)

いただきました。 とても楽しく、学びの多い一日で、たくさんの知識を得ることができました。この日も、それまでの日々も本当に素晴らしかったです。そして今、同じ登米市でホストファミリーと過ごしている時間を、もっともっと楽しみたいと思っています。 宮城県、そしてお会いすることができた市長さんに心から感謝します。今日案内してくださったガイドさんにも感謝を伝えたいです。とても親切で温かく迎えてくださり、そのおもてなしの心はまさに別格でした。またお会いできるのが楽しみです。本当に素晴らしい旅でした。	
(日本語は下部) เมื่อวันที่ 10 พฤศจิกายน ที่ผ่านมา นายณัฏฐ์ พากุลมาตย์ นายณัฏฐ์ พากุลมาตย์ รองอธิบดีกรมส่งเสริมการค้าระหว่างประเทศ กระทรวงพาณิชย์ พร้อมด้วยคณะผู้บริหารและเจ้าหน้าที่ของกรมส่งเสริมการค้าระหว่างประเทศ กระทรวงพาณิชย์ และหน่วยงานที่เกี่ยวข้อง ได้ให้การต้อนรับและอำนวยความสะดวกแก่คณะครูและนักเรียนจากโรงเรียนมัธยมศึกษาในจังหวัดต่าง ๆ ของประเทศไทย จำนวน 9 คน ซึ่งได้เข้าร่วมโครงการแลกเปลี่ยนวัฒนธรรมศึกษา JENESYS2025 ระหว่างวันที่ 11 ถึง 18 พฤศจิกายน 2568 ในหัวข้อ "Thailand-Japan Japanese Language, Culture, Manufacturing, Science and Technology Exchange" ซึ่งจัดขึ้นโดยกระทรวงการต่างประเทศ ณ กรุงโตเกียว และจังหวัดมิยาซากิ โดยมีกิจกรรมเข้าเยี่ยมชมสถานที่ต่างๆ เช่น พิพิธภัณฑ์เทคโนโลยีล้ำสมัย "เจแปน" เข้าฟังบรรยาย ณ โรงเรียนแอนิเมชัน "Amps International" ศึกษาดูงานและแลกเปลี่ยนเรียนรู้กับนักเรียนญี่ปุ่น และพักกับโฮสต์แฟมิลี่ชาวญี่ปุ่นในจังหวัดมิยาซากิ เป็นต้น หรือเป็นโอกาสอันดีที่นักเรียนทุกคนจะได้สัมผัสกับวิถีชีวิตความเป็นอยู่ของชาวญี่ปุ่น ความสัมพันธ์ระหว่างประเทศญี่ปุ่นและไทยต่อไป 2026年11月10日、在タイ日本国大使館の谷村書記官は、タイ教育省が人選した外務省主催の対日理解促進交流プログラムであるJENESYS2025の日本語・文化・製造業・科学技術交流グループに参加する9名の高校生にお祝いの言葉を贈りました。本プログラムは11月11～18日にかけて東京及び宮城県で実施され、先端技術館の視察や国際アニメ学院での講義、宮城県で学校交流・ホストファミリーとの滞在等の活動に参加します。学生の皆さんはこれから得た経験で日本とタイの架け橋になることを期待しております！！ #JENESYS2025 #JENESYS #JENESYSxThailand See translation 	今日は朝9時半から11時半迄、フィリピン、シンガポール、タイの高校生30人のインバウンドイベントを担当しました。 先方の要望で日本のアニメの歴史を映像で見せながら解説しました。 「ボルテスV」がフィリピンの国民的アニメであることは知っていましたがオープニングを流すや否やフィリピンの子達の歓声が起り、日本語と一緒に歌い出したのには驚きました。 アニメキャラの描き方の実演、実習、ベストワンの発表（色紙プレゼント）も行い、十分に楽しんで貰えたと思います。 最後に三つの国から沢山のお土産をいただきました。ありがとうございます。 
2025 年 11 月 12 日（在日タイ王国大使館の Facebook） 2026 年 11 月 10 日、在タイ日本国大使館の谷村書記官は、タイ教育省が人選した外務省主催の対日理解促進交流プログラムである JENESYS2025 の日本語・文化・製造業・科学技術交流グループに参加する 9 名の高校生にお祝いの言葉を贈りました。本プログラムは 11 月 11～18 日にかけて東京及び宮城県で実施され、先端技術館の視察や国際アニメ学院での講義、宮城県で学校交流・ホストファミリーとの滞在等の活動に参加します。学生の皆さんはこれから得た経験で日本とタイの架け橋になることを期待しております。	2025 年 11 月 12 日（amps 国際アニメ学院小幡公春先生の Facebook） 今日は朝 9 時半から 11 時半迄、フィリピン、シンガポール、タイの高校生 30 人のインバウンドイベントを担当しました。 先方の要望で日本のアニメの歴史を映像で見せながら解説しました。 「ボルテス V」がフィリピンの国民的アニメであることは知っていましたがオープニングを流すや否やフィリピンの子達の歓声が起り、日本語と一緒に歌い出したのには驚きました。 アニメキャラの描き方の実演、実習、ベストワンの発表（色紙プレゼント）も行い、十分に楽しんで貰えたと思います。 最後に三つの国から沢山のお土産をいただいてしまいました。ありがとうございます。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、宮城県 全3グループ発表

フィリピン		
 JENESYS Cultural Promotion & Project Action Plan Delegates' Post-Program Initiatives for School Communities Presented by: Philippines Students	 ACTION AND PROGRESS ACTION This project focuses on raising awareness about the JENESYS Program, Japanese culture, and discipline, and how all of these relate to sustainable development. The video will highlight our learnings and the significance of cultural exchange after PROCESS The advertisement will be a 5-5 minute video to be completed in February. It will follow a clear flow: • Introduction of the JENESYS Program • Background of Japanese culture • Two messages from delegates • Significance and Impact • Closing message The video will be uploaded to Facebook, Instagram, and YouTube to reach a wide student audience.	 Motives The goal of this project is to show both the strengths and hidden details of Japanese culture, notably the discipline behind their traditions and everyday habits. We also aim to broaden students' cultural perspectives by sharing the students' views and personally observed during their trips. - Highlight others' and unseen benefits of Japanese culture - Learn the discipline behind cultural activities - Broaden students' cultural perspectives - Share real observations from Japan
【成果の発表】 ◆ 訪日全般の学び 静かな通勤風景や先進的な機械やインフラを想像していましたが、規律正しさがそれらの背景にあることを知りました。 ◆ 日本文化に関する学び 人々の礼儀正しさや思いやりの深さを実感しました。 【アクション・プラン】 ・ JENESYS プログラムや日本の文化・規律についての理解を深め、それらが持続可能な発展とどう関わっているかを広く伝えることを目的として、3～5 分程度の動画を 2 月に完成させ、Facebook、Instagram、YouTube に投稿します。 ・ セミナー・ワークショップを 2 月に告知をし、実施します。セミナーでは、日本での体験をもとに文化的な気づきや歴史的背景、日本のシンプルで効果的な革新の背後にある考え方について発表します。ワークショップでは、書道や日本の遊び、可能であれば茶道などの文化活動を学校のさまざまなクラブと協力して実施する予定です。		
シンガポール		
 Japan 2023 JENESYS Program	 ACTION PLAN Motive: Language, cultural, manufacturing, science and technology exchange Title: Japanese Experience in November Exchanging from Singapore Yasashi So beautiful	 WHAT WILL WE DO - An article on the Japanese language and art introduction - An exchange post on the "J-HIP" program - shared on the Instagram Contents - Highlights of our trip - Interesting experiences - Why we would recommend the trip - What we gained from it
【成果の発表】 ◆ 訪日全般の学び TEPIA では、さまざまな社会課題の解決において最先端技術がどのように活用されているかを学びました。amps 国際アニメ学院では、日本のアニメの歴史が想像以上に長いことを知り驚きました。また印刷局では、様々な偽造防止技術を知りました。都心部に自然があることも実感しました。 ◆ 日本のテクノロジーに関する学び 社会課題や社会に必要とされるインフラに使用されている技術について視察を通じて学ぶことができました。		

【アクション・プラン】

“Temasek LEADership program newsletter” にプログラムで学んだことや経験したことに関する記事を書き、広くこのプログラムを知ってもらいます。また Instagram 等のソーシャルメディアに掲載したり、Outlook 等メールサービスを活用し、若い世代に広く情報を届けたいと思います。

2026 年 1 月 8 日から 10 日に開催される学校のオープンキャンパスでもプロモーションを実施します。

タイ



【成果の発表】

◆ 訪日全般の学び

日本での街歩きでは、きれいな街並みや美しい自然を見ることができました。学校交流では、アニメや映画で見たものと比較してみて、学校は清潔で整然としているところ等、全体的な雰囲気はその通りでしたが、生徒たちが屋上でお弁当を食べること等なく、実際の日本の姿を見ることができました。

◆ 日本語・文化・製造業・科学技術に関する学び

日本語、日本文化に関しては、ホームステイでのホストファミリーとのコミュニケーションで日本語を多く使う機会があり、大変勉強になりました。また、食事において、味噌汁はたまにしか出ないだろうと思っていましたが、実際にはどの家庭でも毎回の食事で味噌汁を食べ、野菜もたくさん食べていることを知り、日本の家庭の日常生活を知ることができました。

さらに、amps 国際アニメ学院では、アニメの製作過程等を学び、大変感銘を受けました。

みやぎの明治村では、侍の屋敷や生活、昔の日本の小学校の様子等、様々なことを学ぶことができました。

製造業に関しては、日本の紙幣製造工場の訪問で、各国の紙幣にはそれぞれ個別の特徴があること、日本の紙幣の印刷工程は非常に緻密であることを学びました。

科学技術に関しては、TEPIA 先端技術館で、廃棄物から生まれた新素材やロボット等、これまで見たことも聞いたこともない、優れた技術について学びました。

【アクション・プラン】

参加者全員で、日本語を勉強している学生や、JENESYS プログラムへの参加に興味のある学生を対象に、文化をテーマに今回のプログラムで得られた知識と経験を、対面及びオンラインで共有します。対面では、各学校でのプレゼンテーションと併せ、プログラムに関するインフォグラフィックスを作成します。

オンラインでは、様々なソーシャル メディアを通じて写真やインフォグラフィックスを投稿します。

また、応募から面接、日本への渡航準備まで、プログラムへの参加方法についてアドバイスします。主に 1 月～2 月に実施予定です。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）